

News Release

(別添)

2019年7月25日

NITE(ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所

家の外で起きる事故から子どもを守る(九州・沖縄8県版)

～正しく使って、しっかり教えましょう～

7月22日から7月28日は「子どもの事故防止週間」^{※1}です。外で遊ぶ機会が増える夏休みに入りましたので屋外及び外出先での子どもの事故の注意喚起を行います。

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※2}から、屋外及び子どもが外出した先で発生した事故を整理すると、0歳から14歳までの子どもが死亡やけがなどの被害者となった製品事故は、2009年度から2018年度の10年間に九州・沖縄8県で23件^{※3}(24人)ありました。被害状況は重傷10人、軽傷14人です。

これらの中には、子どもの予期せぬ行動が起こした事故や、保護者^{※4}の不注意や目を離した隙に発生した事故があります。

子どもの予期せぬ行動が事故につながったものとしては、次のような事例があります。

- 子どもが水泳用のゴーグルを装着したまま引っ張り、レンズの曇りを洗い流そうとした際、手からゴーグルが離れて眼球に当たり、角膜裂傷の重傷を負った。【2009年6月、10歳・女子、重傷】

保護者の不注意や目を離した隙に発生した事例は次のとおりです。

- 折り畳み式ベビーカーの可動部の隙間に幼児が指を入れていることに保護者が気付かず、折り畳んでいたベビーカーを開いたために、閉じた隙間に幼児の右手親指が挟まり裂傷した【2009年11月、1歳・男子、軽傷】

また、リコール製品に気付かずに使いつづけて発生した事故もあるため、リコール情報を入手して事故を防ぐことも大事です。

- 子どもが自転車で走行中、ペダル軸に固定ナットが取り付けられていなかったため、ペダルを踏み込むことで玉押しナットが緩む方に回転し、ペダルが外れて転倒し、軽傷を負った。【2015年3月、5歳・女子、軽傷】

屋外は保護者の注意が行き届かないことも少なくありません。子どもの事故を防ぐには、普段から安全について子どもと話し合ったり、可動している部分、隙間、鋭利な部分、高所などの危険源から子どもを遠ざけたり、安全に配慮した製品を使ったりすることなどがポイントです。

これらのポイントに注意し、家の外で起きる事故から子どもを守り、楽しい夏休みにしましょう。

(※1) 窒息や溺水、転落をはじめとする事故等によって、14歳以下の子どもが毎年300人ほど亡くなっており、こうした事故防止に向けて、関係府省庁が緊密に連携して取組を推進するため、子どもの事故防止に関する関係府省庁連絡会議が設置された。

(※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※4) 保護者には、家族や家族以外の大人も含む。

1. 事故の発生状況

(1) 九州・沖縄8県における子どもの事故 年度別及び製品別 事故発生件数

図1に九州・沖縄8県における0歳から14歳までの子どもがけがなどの被害者となった屋外や外出先での製品事故 23件について、「年度別 被害状況別 事故発生件数」を示します。

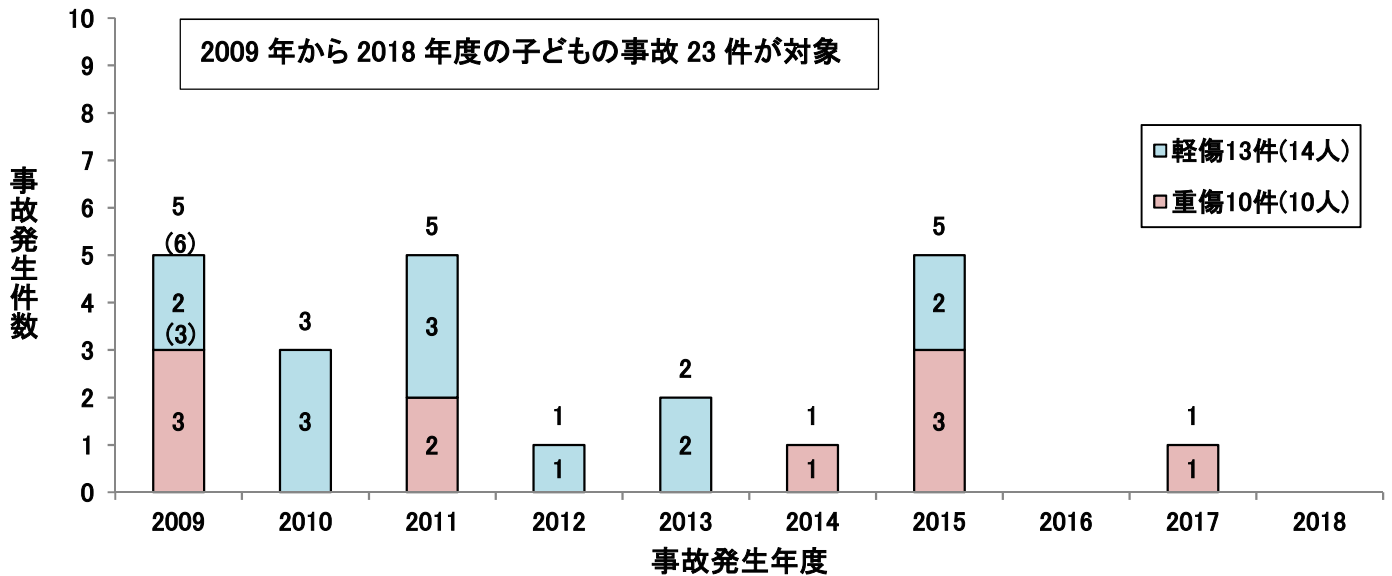


図1:九州・沖縄8県における子どもの事故 年齢別 年度別 事故発生件数

図2に九州・沖縄8県における0歳から14歳までの子どもがけがなどの被害者となった屋外や外出先での製品事故 23件について、「製品別 事故発生件数」を示します。

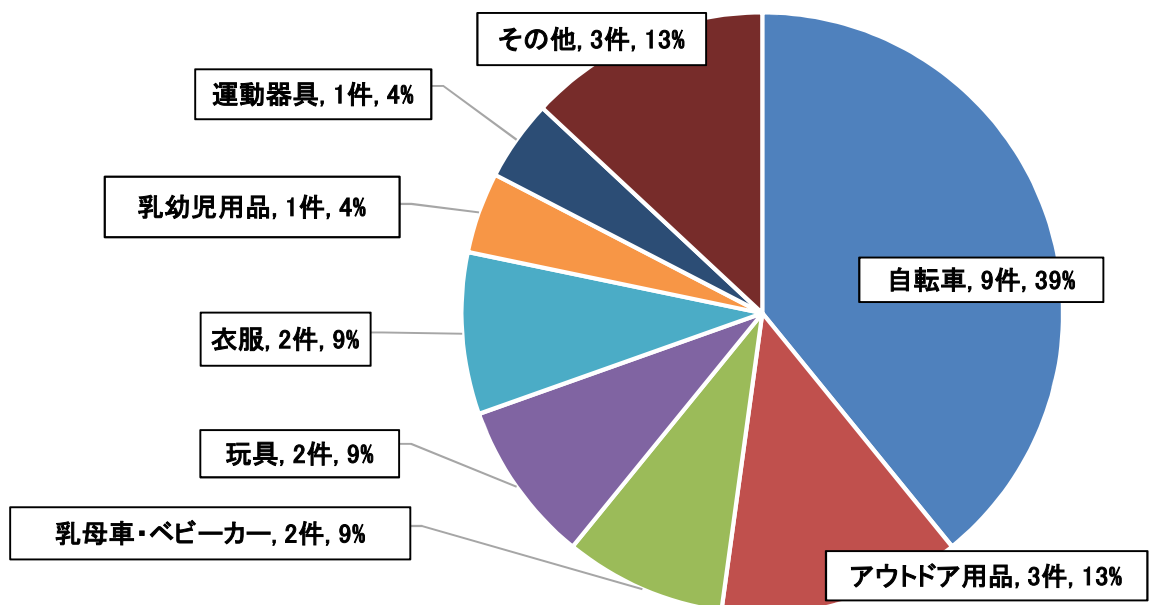


図2:九州・沖縄8県における子どもの事故 製品別 事故発生件数

(2) 九州・沖縄8県における子どもの事故 事故発生状況別 事故発生件数

図3に九州・沖縄8県における屋外や外出先で発生した製品事故 23 件について、「事故発生状況別 事故発生件数」を示します。

なお、主に使用に起因する事故の区分は下記のとおりです。

- 子どもが使用時の事故 : 子どもの予期せぬ行動が原因で発生した事故
- 保護者が使用時の事故 : 保護者の不注意な行動によって発生したもので、子どもが被害を被った事故

主に使用に起因する事故は、子どもが使用時の事故が 7 件(31%)、保護者が使用時の事故が 7 件(30%)の合計 14 件(61%)発生しており、主に製品に起因する事故は 5 件(22%)、原因不明は 4 件(17%)となっています。

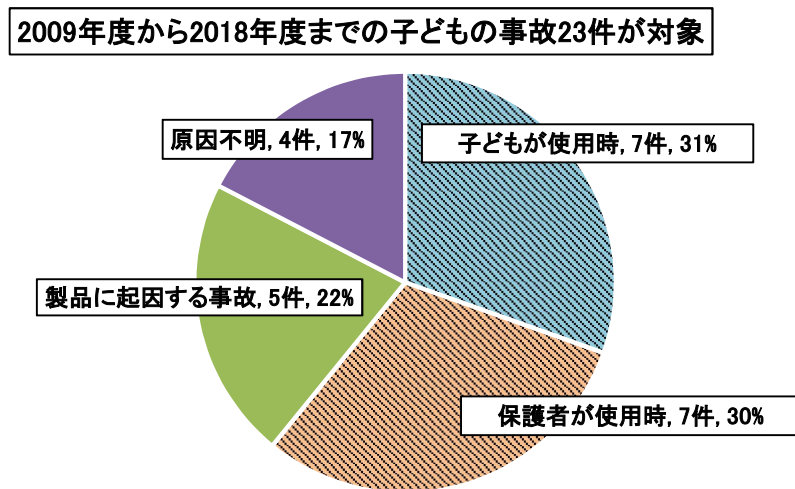


図3:九州・沖縄8県における子どもの事故 事故発生状況別 事故発生件数

(3) 九州・沖縄8県における子どもの事故 使用者別 製品使用状況別 事故発生件数

主に使用に起因する事故 14 件について、図4に「使用者別 製品使用状況別 事故発生件数」を示します。全体では、子どもと一緒にいるときが 7 件と最も多く発生しています。また、子どもが使用時の事故では、子どもだけのときに 3 件と多く発生しています。

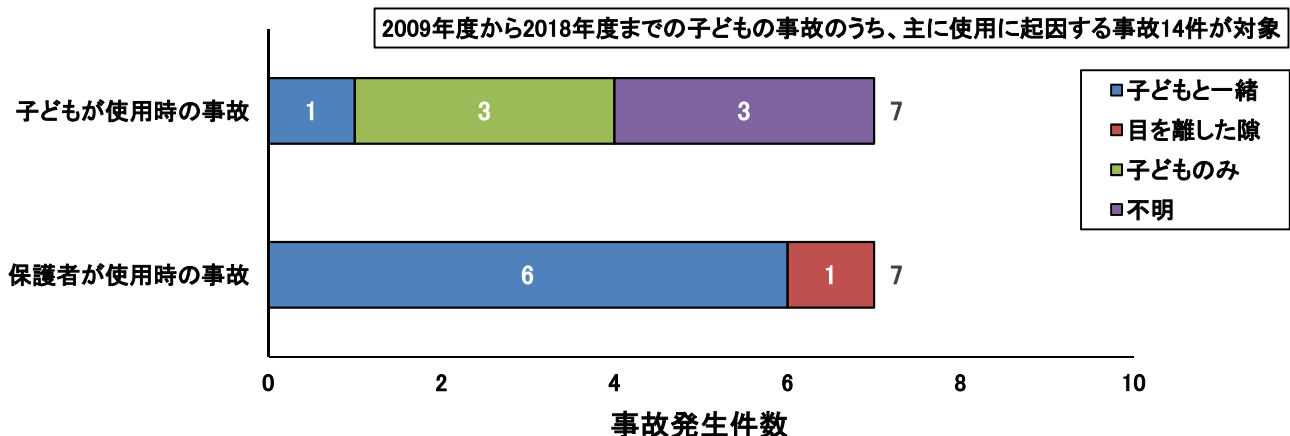


図4:九州・沖縄8県における子どもの事故 使用者別 製品使用状況別 事故発生件数

(ア) 子どもが使用時の事故

子どもが使用時の事故 7 件について、図5に「製品別 事故発生状況別 事故発生件数」を示します。
自転車の事故が 4 件と最も多く発生しています。

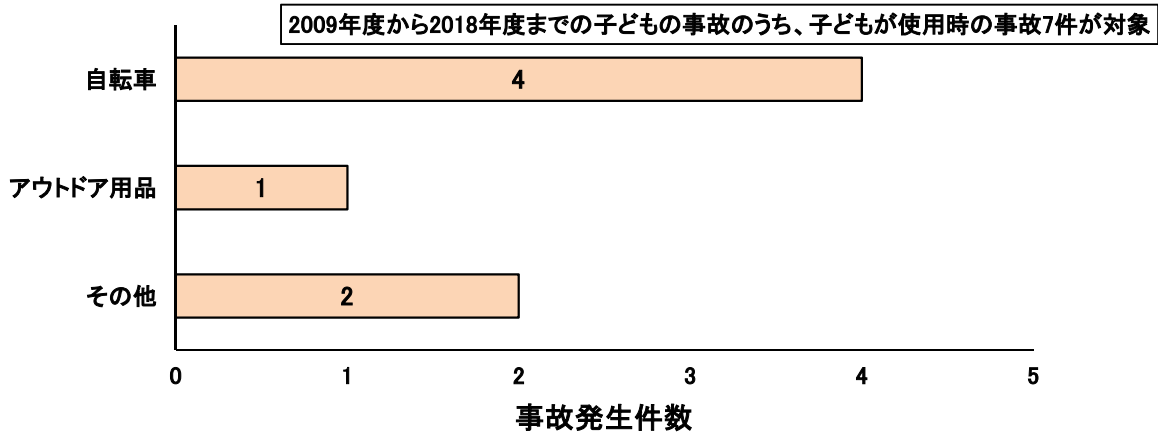


図5:九州・沖縄8県における子どもの事故 製品別 事故発生状況別 事故発生件数

子どもが使用時の事故のうち、最も多い自転車の事故について、図 6 に「年齢別 被害事象別 事故発生件数」を示します。低年齢では、兄弟で遊んでいるときにチェーンに指が巻き込まれる事故が発生しています。
12 歳以上の事故は、いずれも走行中に前ホーク等が破損して転倒し、けがを負った事故です。

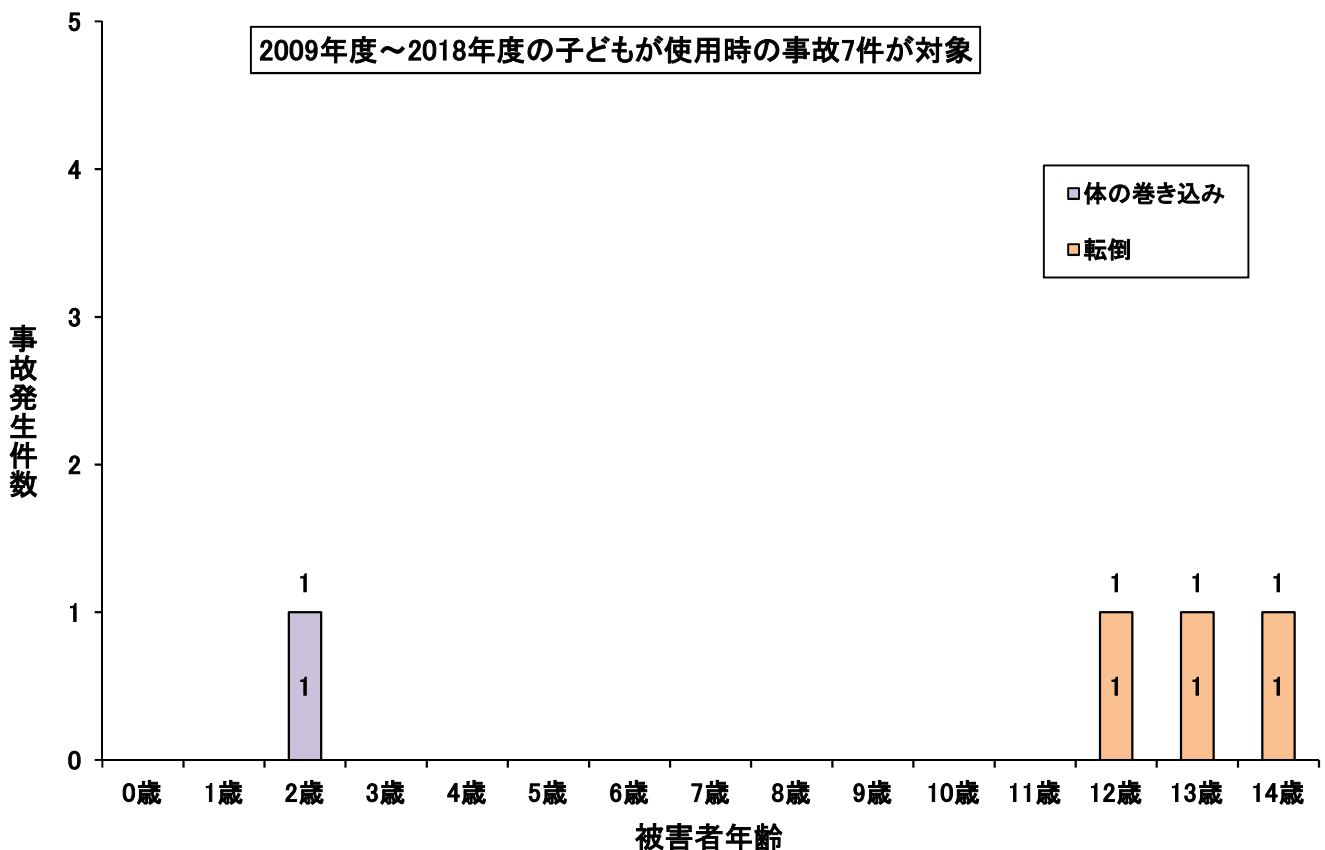


図6:九州・沖縄8県における子どもの事故 事故事象別 年齢別事故発生件数

(イ) 保護者が使用時の事故

保護者が使用時の事故 7 件について、図7に「製品別 事故発生状況別 事故発生件数」を示します。ベビーカーと玩具(花火)を使用中の事故が各 2 件発生しています。

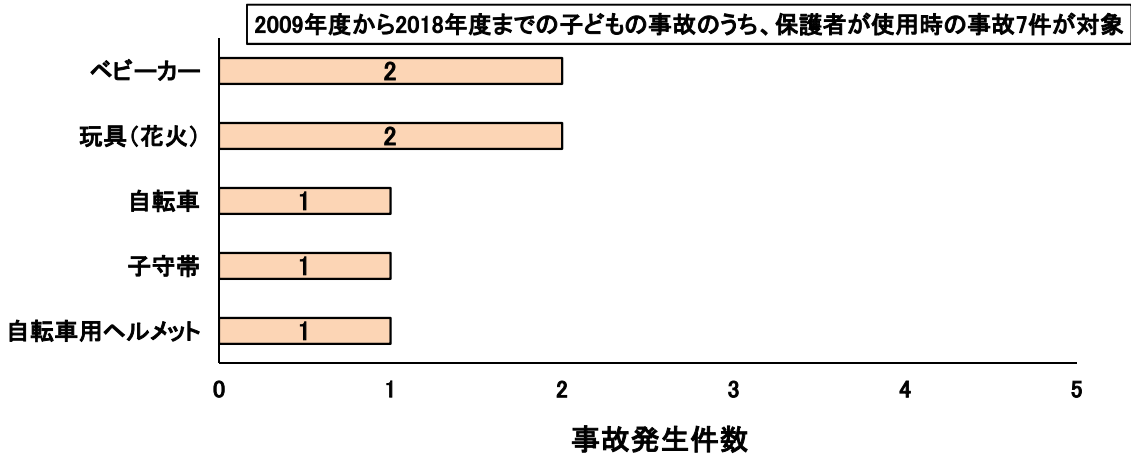


図7:九州・沖縄8県における子どもの事故 製品別 事故発生状況別 事故発生件数

保護者が使用時の事故のうち、ベビーカー^{※5}の事故について、図8に「年齢別 被害事象別 事故発生件数」を示します。ベビーカーでは、開く際に子どもの指が挟まれる事故が発生しています。

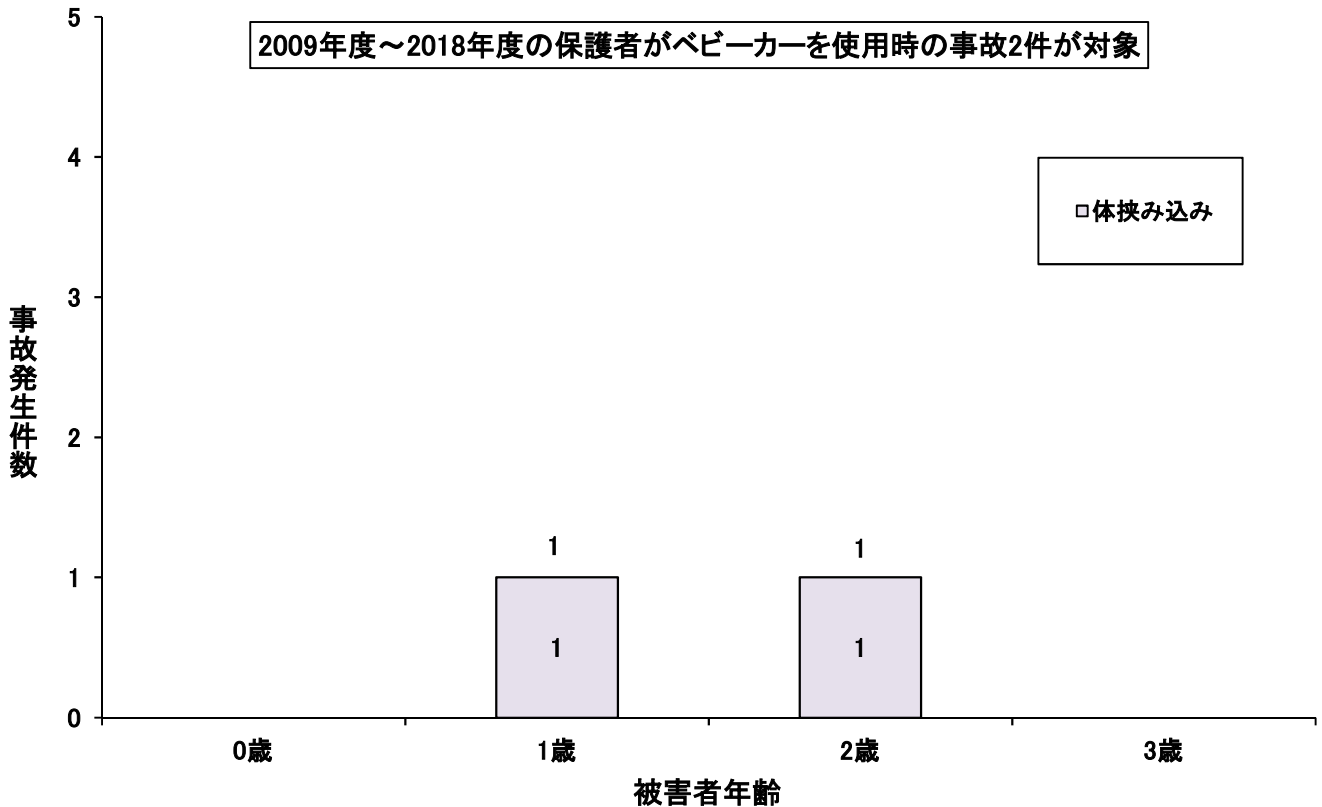


図8:九州・沖縄8県における子どもの事故 事故事象別 年齢別事故発生件数

(※5) 4歳以上の事故発生件数は、0件。

(4) 九州・沖縄8県における子どもの事故 製品別 リコール対象区分別 事故発生件数

主に製品に起因する事故 5 件について、図9に「製品別 リコール対象区分別 事故発生件数」を示します。
リコール製品による事故が 5 件のうち 4 件発生しています。

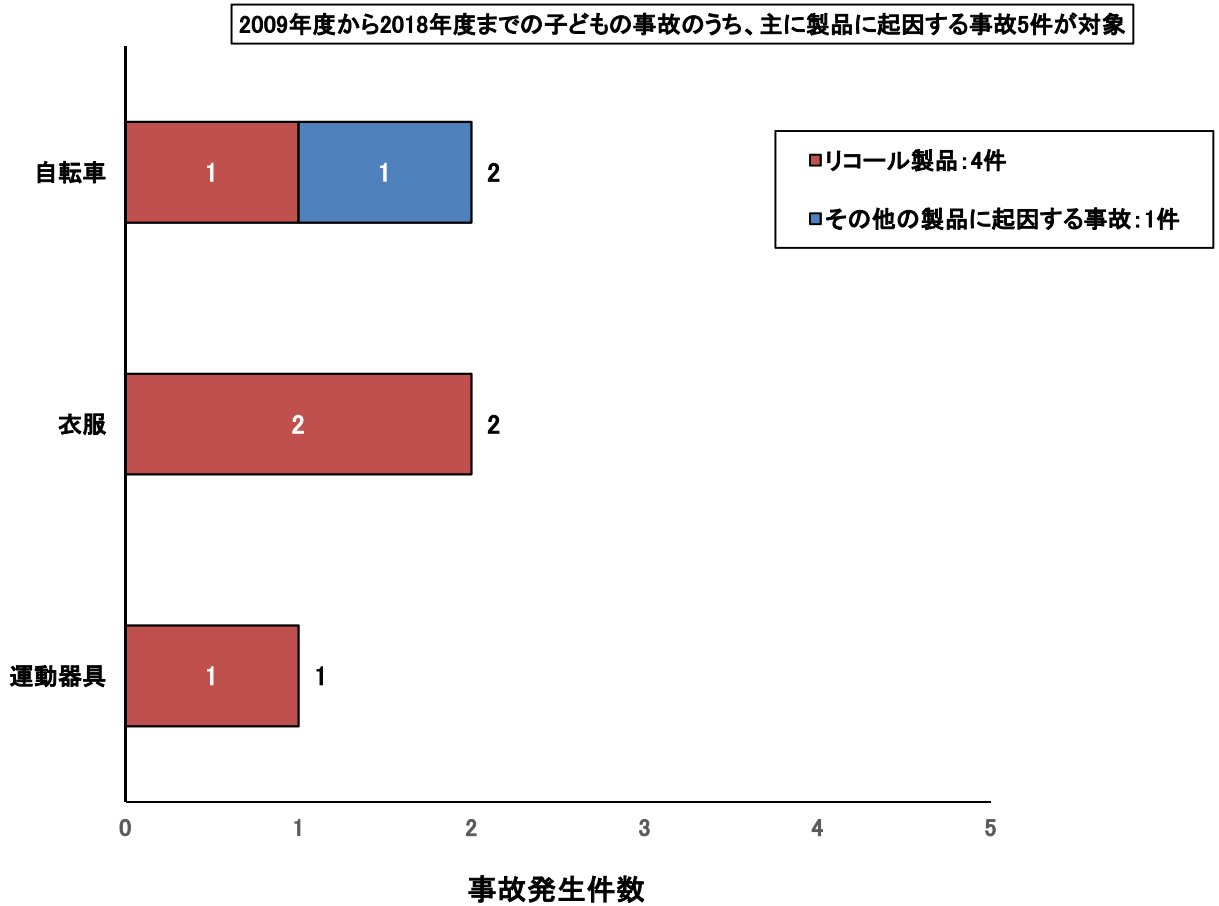


図9:九州・沖縄8県における子どもの事故 製品別 リコール対象区分別 事故発生件数

2. 子どもの事故の事例

九州・沖縄8県における屋外や外出先での子どもの事故事例を示します。

(1) 子どもが使用時の事故

(ア) 水泳用ゴーグルを装着したまま、レンズを洗おうとしたときの事故(アウトドア用品)

2009年6月(福岡県、10歳・女子、重傷)

【事故内容】

水泳用ゴーグルを装着したままレンズの曇りを洗い流そうとした際、手から水泳用ゴーグルが離れ、眼球に当たり、重傷を負った。

【事故原因】

被害者がレンズの曇りをとるために水泳用ゴーグルを装着したまま引っ張り、手から離れて水泳用ゴーグルの端部が眼球に当たり事故に至ったものと考えられる。

なお、水泳用ゴーグルはSGやJIS基準を満たしていた。

(イ) フェンスを乗り越えようとしたときの事故

2015年10月(大分県、11歳・男子、重傷)

【事故内容】

小学生が自宅のフェンスを乗り越えようとしたところ、フェンスの格子が外れ、側溝に転落し、負傷した。

【事故原因】

被害者がフェンスの下側から縦格子を掴みよじ登ろうとした際に、縦格子に過大な力が加わったことで縦格子が変形し外れたものと考えられる。

なお、フェンスには、「フェンスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしない」旨、記載されており、また、JIS規格を満たしている製品であった。

(ウ) 自転車で転倒した事故

2010年6月(佐賀県、12歳・男子、軽傷)

【事故内容】

自転車で走行中、左折しようとしたところ転倒し、軽傷を負った。事故後に自転車を確認したところ、前ブレーキアームが破断していた。

【事故原因】

被害者が、濡れた路面で交差点を曲がりながらブレーキをかけ過ぎたため、タイヤがスリップし、バランスを崩して転倒したものと考えられる。

なお、前ブレーキアームが破断したのは、約100度のハンドルの左回転でブレーキアームの上端がフレームの下パイプに当たる構造であったため、転倒した際にハンドルが大きく左回転し、ブレーキアームが下パイプに衝突したためと考えられる。

(2) 保護者が使用時の事故

(ア) 折り畳み式ベビーカーを開いたときの事故

2009年10月(宮崎県、1歳・男子、軽傷)

【事故内容】

ベビーカーを開いた際、幼児が可動部の隙間に右手親指を挟み、軽傷を負った。

【事故原因】

可動部の隙間に幼児が指を入れていることに保護者が気付かず、折り畳んでいたベビーカーを開いたために、閉じた隙間に幼児の右手親指が挟まり裂傷したものと考えられる。

なお、取扱説明書には「ベビーカーの開閉などの操作時には、お子さまを廻りに近づけない。」旨、注意表記がされている。

(イ) 子守帯を使用中の事故

2011年5月(福岡県、0歳(5か月)・女子、軽傷)

【事故内容】

子守帯を縦抱っこ形で使用中、子供を包んで保持するユニットの首当てと大人用の肩ベルトをつなぎ止めている肩部調整ベルトのバックルに、眠っていた乳児の頬があたり、内出血した。

【事故原因】

肩部調整ベルトのバックルは、乳児の体勢が正常な場合には接触しないことから、乳児の固定が緩く、斜めに傾いた状態で使用していたと考えられ、また、その状態にあつては乳児の頬が触れる可能性のある範囲にバックルが位置していたため、事故に至ったものと考えられる。

なお、取扱説明書には、「各部のベルトは緩めた状態で使用しない」旨、記載があつたものの、バックルが肌にあたる危険性やその対応についての表示が不十分であつた。

(3) 主に製品に起因する事故**(ア) 自転車(リコール製品)の事故 リコール前(リコール開始 2015年4月)**

2015年3月(熊本県、5歳・女子、軽傷)

【事故内容】

子どもが自転車で走行中、ペダルが外れて転倒し、軽傷を負つた。

【事故原因】

ペダル軸に固定ナットが取り付けられていなかったため、ペダルを踏み込むことで玉押しナットが緩む方に回転し、ペダルが外れたものと考えられる。

(イ) 衣服(リコール製品)の事故 リコール前(リコール開始 2011年6月)

2011年5月(福岡県 年齢不明・男子、軽傷)

【事故内容】

乳児が着用していたズボンを脱がせていたところ、ポケットの飾りボタンの突起で太股に擦過傷を負つた。

【事故原因】

衣服のスナップボタン取り付け作業時に、機械の調節不備及び作業ミスによって、ボタンの5本のツメが本来内側に折れて生地をかむべきところ、外側に飛び出たものが、検品時に確認できず出荷されたものと考えられる。

※ 九州沖縄8県の2009年度から2018年度までの、屋外や外出先での子どもの事故23件のうち、リコール製品による事故は4件発生していますが、いずれもリコール開始前の事故です。

3. 子どもの屋外や外出先での事故の実験映像の提供

子どもの屋外や外出先での事故の実験映像の写真及び動画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+ロゴ」としてください。

※nite ロゴ



(本件に関する問い合わせ先)

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所 技術課
担当者 澤田、篠崎

電話: 092-551-1315、FAX: 092-551-1329
[e-mail:sawada-mitsuhiro@nite.go.jp](mailto:sawada-mitsuhiro@nite.go.jp)
[e-mail:shinozaki-kenzo@nite.go.jp](mailto:shinozaki-kenzo@nite.go.jp)

以上

参考データ

以下に、被害事象別 事故発生件数を示します。

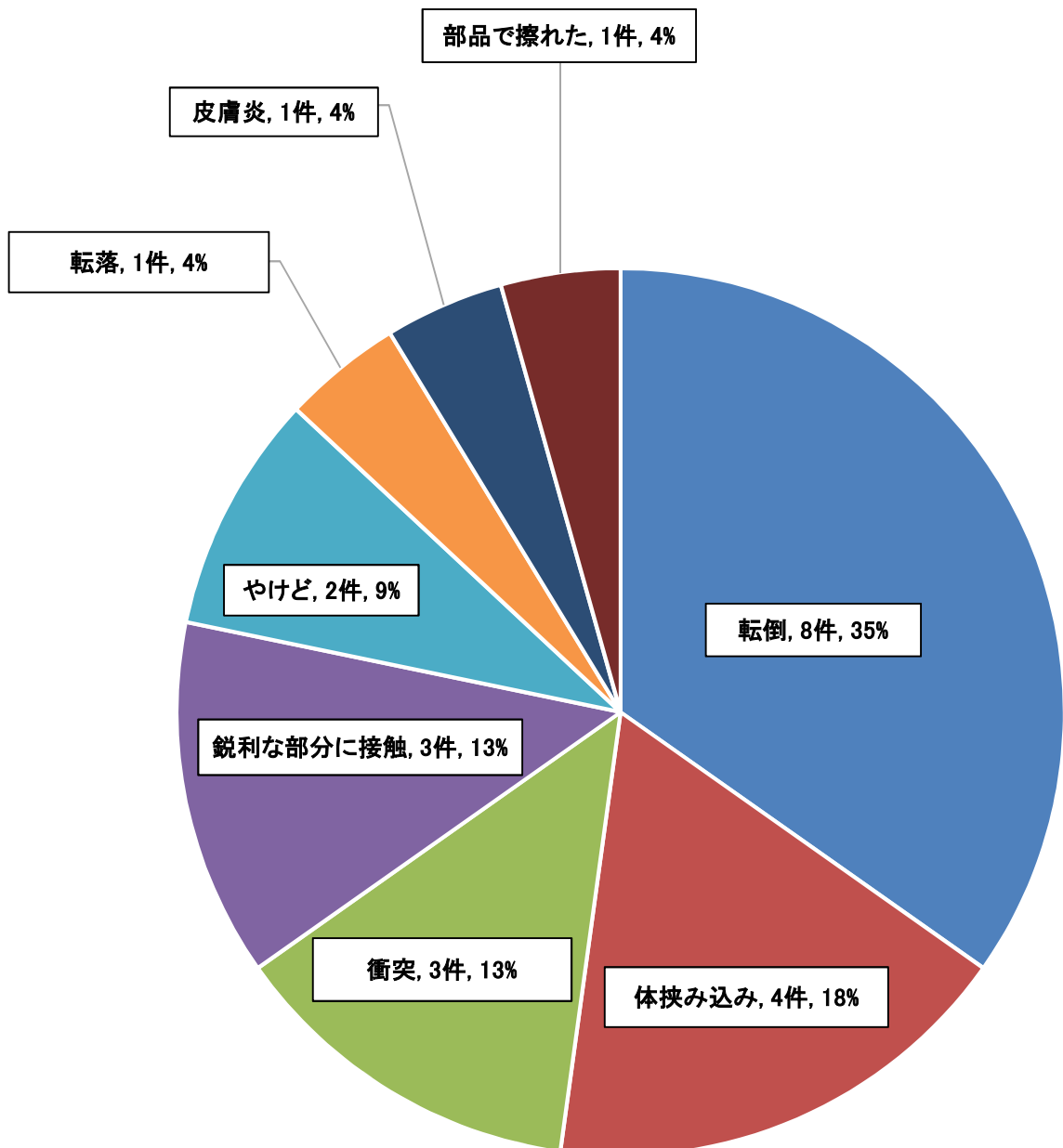


図1:九州・沖縄8県における子どもの事故 被害事象別 事故発生件数

(別紙)

以下に、年齢別 被害別 事故発生件数を示します。

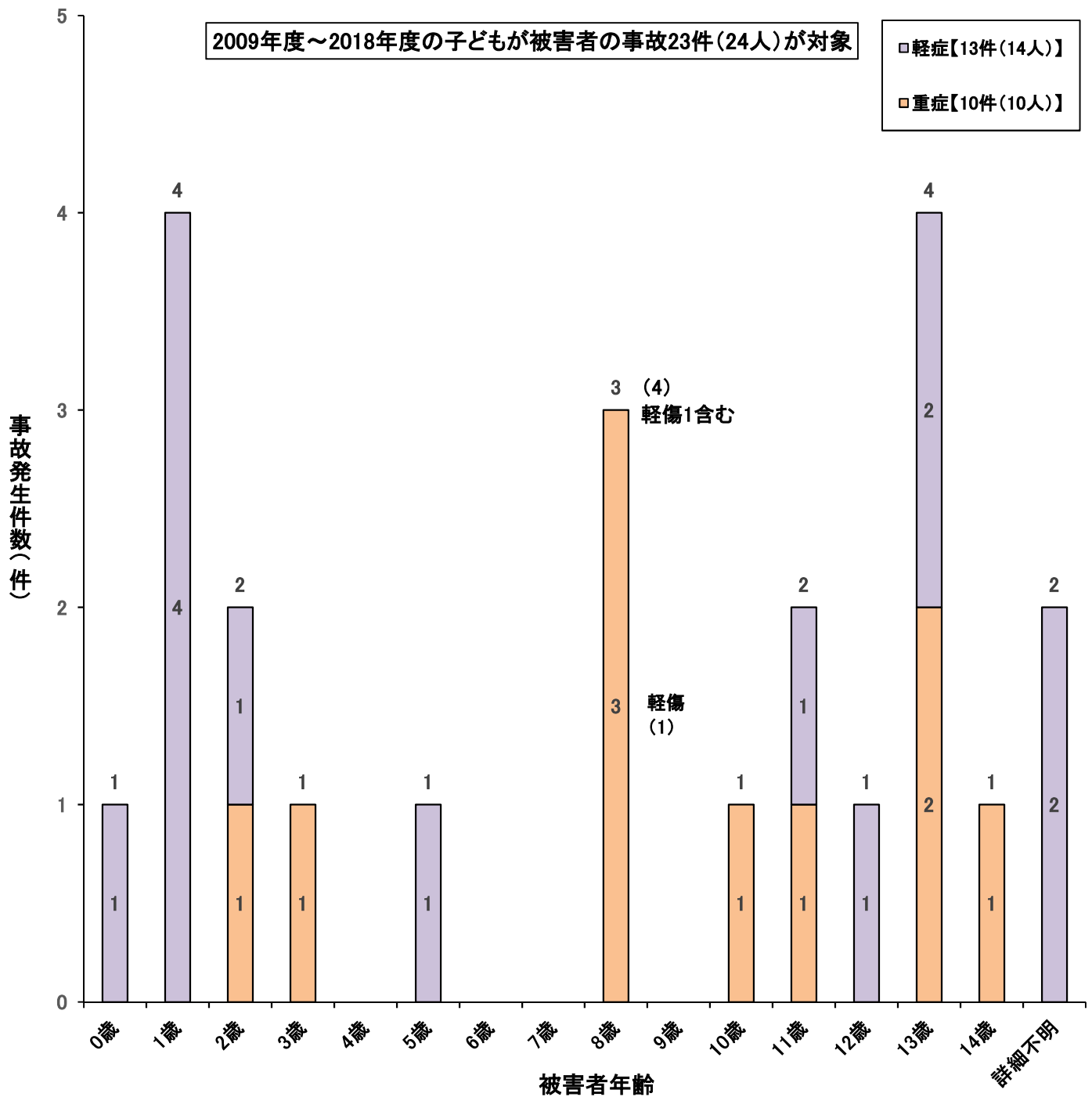


図2:九州・沖縄8県における子どもの事故 被害別 事故発生件数※1

(※1) ()は被害者数。()のないものは事故件数と被害者数が同数のもの。

(別紙)

以下に、年齢別 被害事象別 事故発生件数を示します。

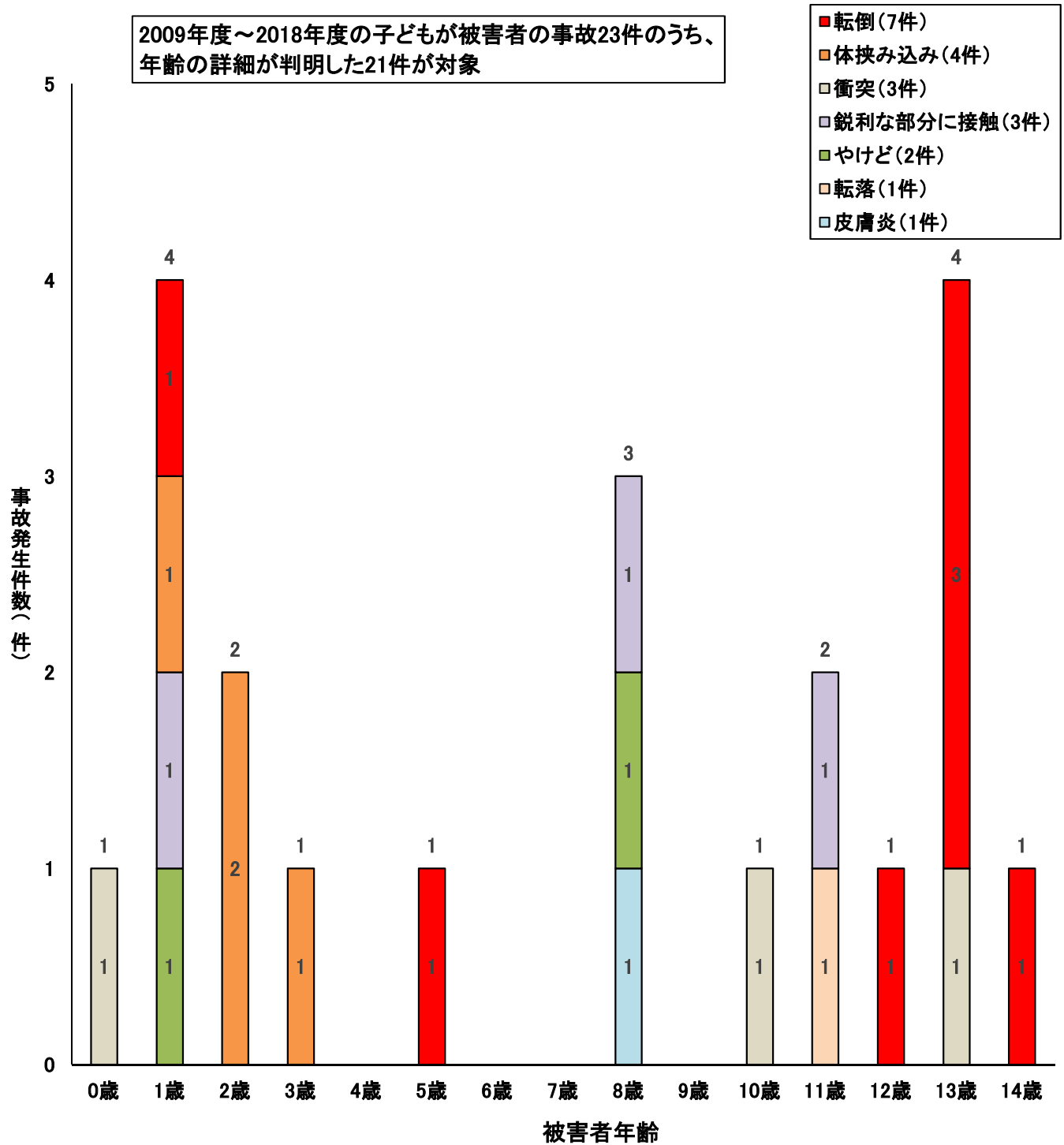


図3:九州・沖縄8件における子どもの事故 年齢別 被害事象別 事故発生件数

(別紙)

以下に、2009年から2018年度までの子どもが被害者の事故23件のうち、年齢の判明した21件を対象とする被害事象別 年齢別 事故発生件数を示します。

表1:九州・沖縄8県における子どもの事故 被害状況事象別 年齢別 事故発生件数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	総計
転倒		1				1							1	3	1	7
自転車						1							1	3	1	6
自転車ヘルメット		1														1
体挟み込み		1	2	1												4
自転車			1	1												2
ベビーカー		1	1													2
鋭利な部分に接触		1							1			1				3
衣服		1														1
アウトドア用品												1				1
花瓶									1							1
衝突	1									1	1					3
運動器具										1						1
アウトドア用品											1					1
子守帯	1															1
やけど		1							1							2
玩具(花火)		1							1							2
転落												1				1
自宅フェンス												1				1
皮膚炎									1							1
アウトドア用品									1							1
総計	1	4	2	1		1			3	1	1	2	1	3	1	21